No. 216

問題形式別 ULTIMATE CHEAT SHEET

マークシートの技術(転記・見直し・塗り方)

マークのずれ・塗り残し・時間切れは、実力と関係なく点を失う。転記の単位・見直しの順番・終盤の処理を決めておけば防げる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 転記は大問・見開きごとにまとめ、番号を指で確認

2 飛ばした問題も仮マーク＋冊子に印で、ずれを防ぐ

3 受験番号・解答科目は最初と最後に必ず確認

◆ 1回の試験の流れ 5

① **開始直後**
受験番号・氏名・解答科目など、指示された欄を先に記入・マークする。

② **解く**
答えはまず問題冊子に書く(選択肢に○)。迷った問題には「？」を付ける。

③ **転記**
大問・見開きが終わるごとに、冊子の答えをまとめてマークする。

④ **終盤**
残り時間を見て、未転記を全部塗り、空欄を作らない(減点がない試験の場合)。

⑤ **見直し**
番号ずれ→空欄→「？」の問題、の順に確認する。

◆ まとめて塗るか、1問ずつか 1

☐ **大問・見開きごとにまとめて塗る**
速い。数の合わない所でずれに気づける
おすすめは大問単位。最後にまとめて全部はしない

vs

1問ずつ塗る
転記漏れは少ないが、視線の往復で時間がかかる

◆ 転記の技術 6

☐ **1 まず冊子に答えを書く**
冊子の選択肢に○を付けておけば、見直しも転記も冊子だけで済む。マークだけだと冊子に記録が残らず、見直しがしにくい。

☐ **2 解答番号を見て塗る**
問題の番号と解答欄の番号が違う試験がある。必ず解答欄の番号(解答番号)で照合する。

☐ **3 指で押さえて照合**
冊子の番号とマーク欄の番号を左右の指で押さえ、1問ごとに番号を合わせながら塗る。

☐ **4 飛ばした問題も仮マーク**
後回しにする問題も暫定の答えを塗り、冊子に大きく印を付ける。空欄のまま進むと次からずれやすい。

☐ **5 区切りでずれを確認**
大問の最後の解答番号と、最後に塗った欄の番号が一致しているかを毎回確かめる。

☐ **6 転記の締め切りを決める**
「残り○分には全部転記済み」と自分の締め切りを決めておく。最後にまとめて塗ると時間切れの危険が大きい。

◆ 塗り方・消し方 4

☐ **1 枠いっぱいに濃く**
読み取りは塗りつぶしが前提。○で囲む・✓を付ける・薄く塗るは読み取られないおそれがある。

☐ **2 指定の筆記用具を使う**
鉛筆の濃さなどは試験ごとに指定がある。受験上の注意を事前に読み、予備も含めて準備する。

☐ **3 消す時は跡を残さない**
よく消える消しゴムで完全に消す。消し残しは二重マークと判定されるおそれがある。

☐ **4 はみ出さない**
隣の選択肢にかかると誤読の原因になる。速さより正確さを優先する。

◆ 時間が足りない時の処理

残り時間	やること
残り10分前後	解いた問題の未転記を全部塗る。ずれを確認する
残り5分前後	未解答の問題は設問と選択肢だけ読み、消去法で選ぶ
残り1分	まだ空欄があれば、何かを塗って空欄をなくす(減点がない試験の場合)

◆ 見直しの順番 4

☐ **1 ① 番号ずれ**
各大問の最後の解答番号と、塗った欄が一致しているか。ずれは一度に多くの点を失う。

☐ **2 ② 空欄・二重マーク**
マーク欄を上から指でたどり、空欄と2つ塗った欄がないか確認。

☐ **3 ③「？」の問題**
迷った問題を、根拠を探し直して見直す。根拠なしに答えを変えない。

☐ **4 ④ 受験番号・解答科目**
最後にもう一度、受験番号・氏名・解答科目の記入とマークを確認する。

答えを変えるのは損？
「最初の直感が正しいから答えを変えるな」は思い込みだとする研究がある(Kruger, Wirtz & Miller, 2005)。答えを変えた例では、誤答から正答に変わったもののほうが多かった。ただし大事なのは根拠のある変更であること。「なんとなく」で変えない。

◆ リスニングでのマーク 3

☐ **1 放送が終わったらすぐ塗る**
聞きながら冊子の選択肢に印を付け、その問題の放送が終わった直後に塗る。後でまとめて塗ろうとすると、次の問題の先読みができなくなる。

☐ **2 迷っても引きずらない**
自信がなくても次の放送が始まる前に一度塗る。前の問題を考えている間に、次の問題を聞き逃すのが最大の失点。

☐ **3 空いた時間は先読みに**

塗り終えたら、すぐに次の問題の設問・選択肢・図表を見て、聞くポイントを決めておく。

◆ 前日までの準備 4

☐ **1 受験上の注意を読む**

使える筆記用具・時計・持ち込める物は試験ごとに決まっている。前日までに受験票や公式の案内で確認する。

☐ **2 筆記用具は予備を持つ**

指定の鉛筆・シャープペンシルを複数、消しゴムを2個。芯が折れた・落としたで慌てない。

☐ **3 時計で時間を管理する**

会場に時計があるとは限らない。規定に合う時計を用意し、大問ごとの終了予定時刻を冊子に書き込む。

☐ **4 当日と同じ形で練習**

過去問は時間を計り、マークシートに塗るところまでやる。転記の時間も含めて配分を作る。

◆ マークでやりがちな失敗 5

☐ ✕ ~~飛ばした問題を空欄のまま次を塗る~~
○ **仮マークして冊子に印を付ける**
以降の解答が1つずつずれる危険がある

☐ ✕ ~~最後の5分で全部まとめて転記~~
○ **大問ごとに転記し、締め切りを決める**
時間切れ・ずれの危険が大きい

☐ ✕ ~~○で囲む・薄く塗る~~
○ **枠いっぱいに濃く塗りつぶす**
読み取られないおそれがある

☐ ✕ ~~消し跡が残ったまま別の番号を塗る~~
○ **完全に消してから塗る**
二重マークと判定されるおそれ

☐ ✕ ~~受験番号・解答科目の記入を後回し~~
○ **開始直後と終了前の2回確認**
間違うと採点されないおそれがある

模試で練習しておく

転記のタイミングや見直しの順番は、本番でいきなりはできない。模試や過去問演習でもマークシートを使い、毎回同じ手順で解いて、手順を体に覚えさせる。

参考資料 Kruger, J., Wirtz, D., & Miller, D. T. (2005). Counterfactual thinking and the first instinct fallacy. Journal of Personality and Social Psychology, 88(5), 725–735.

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)